

ガイドブック

自閉症のある子どもへの支援
自閉症のある子どもへの支援



千葉県総合教育センター

ま え が き

学校教育法の一部改正が行われ、従来の特殊教育から特別支援教育への転換が図られ、一年が過ぎようとしています。自閉症のある児童生徒においても、自閉症の障害特性に応じた指導方法・内容の整理や教員集団の専門性の向上が求められているところです。

さて、中央教育審議会は学習指導要領の改訂に向け、「幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の学習指導要領等の改善について」（答申）をとりまとめました（平成20年1月17日）。今回の答申は「自立活動」について、「5区分の下に22項目が示されているが、社会の変化やこどもの障害の重度・重複化、自閉症、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）等も含む多様な障害に応じた適切な指導を一層充実させるため、他者とのかかわり、他者の意図や感情の理解、自己理解と行動の調整、集団への参加、感覚や認知の特性への対応などに関する内容を内容の項目に盛り込む。」こと、『新たな区分として、「人間関係の形成」を設ける」こととしました。

現行の学習指導要領の自立活動に、対人関係やコミュニケーションなどの自閉症の障害特性に関する対応について、その指導内容が示されていますが、実際の指導にあたっては、教育課程や指導内容の整理が必要であり、今回の答申は、この課題解決への方向性を示すものと考えます。

さて、当センター特別支援教育部では平成17年度から3年間に亘り、知的障害と自閉症を併せ有する児童生徒の指導について、その障害特性の応じた指導内容、学習グループ、教育課程の編成の在り方について検討を重ねて参りました。今年度はその研究の成果を、このガイドブック「自閉症のある子どもへの支援」としてまとめることができました。

このガイドブックにより、自閉症のある児童生徒の日常生活、学校での活動が少しでも充実し、また、学校での指導、家庭でのかかわりが円滑になることを期待いたします。お手もとに置き、御活用くださいますようお願い申し上げます。なお、ガイドブックについて、さらに内容の見直しを図り、充実させていく所存です。御一読の上、御批正賜りますようお願いいたします。

最後に、御多忙の中懇切丁寧に御指導くださいました帝京大学教授大南英明先生はじめ、快く研究協力をお引き受け下さいました県立柏特別支援学校、県立富里特別支援学校の校長先生はじめ職員の方々、そして研究協力員の方々に深く感謝申し上げます。

平成20年3月

千葉県総合教育センター

所長 多田 芳樹

目 次

まえがき
目 次

I 自閉症の障害特性の理解 3

II 支援の基本（環境調整）

－ 生活しやすい学びやすい学校生活を送るために －

- 1 安心できる環境作り（人的環境） 4, 5
- 2 理解できる環境作り（物的環境）
 - （1）学習環境の工夫 7
 - （2）活動の進め方の工夫 8, 9

III 自閉症の特性に応じた指導内容及び指導方法

- 1 指導内容 11
- 2 指導方法
 - （1）社会性を育てるために 12, 13
 - （2）わかりあえるコミュニケーションのために 14, 15
 - （3）見通しを持つために 16, 17
 - （4）認知の力を高めるために 18, 19
 - （5）余暇を上手に使うには 20

IV 学校生活を通じて支援していくために

- 1 自閉症の特性に応じた教育課程 21
- 2 教育課程の実際（日課表と構造表） 22, 23
- 3 個別指導計画の効果的な作成 24, 25
 - 子どもたちが一人で活動をやりきるための観点 26
- コラム 「将来の生活につなげるために」 27

コラム

自閉症のある子どもの成長に伴う変化とそれへの対応 6
帝京大学 教授 大南 英明

子どもの行動問題の理解と対応～ほめて育てる解決～ 10
千葉県発達障害者支援センター
副センター長 田熊 立

